

小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式

- 1 一括質問一括答弁方式
- 2 一問一答方式

質問件名 認知症の方と家族を地域で支えるために

質問要旨 (初めに質問全体の趣旨、次に具体的な質問内容を項目別に記入してください)

高齢化がすすみ、認知症にかかる人が増えています。小平市では2014年実績で3,778人の高齢者が認知症と診断されています。この数は要介護認定者数の約半数にあたります。第1次ベビーブームに生まれた方が75歳以上になる2025年には、認知症と診断される高齢者は5,715人にのぼると推計されています。

認知症は、日常生活に支障をきたすような症状、行動や意思疎通の困難を伴いますが、小平市では62.3%の方が在宅で生活を送っています。

介護疲れによる虐待などの悲しい事件が起こったり、介護のための離職が年間約10万件に上るなか、認知症になっても本人や家族が地域で安心して暮らしていくために、よりきめ細やかなサービスが必要となってきます。

認知症の方やその家族を地域のなかで支え合うことや支援のサービスを充実させるため、以下質問いたします。

- 1、2015年の小平市日常生活圏域別の認知症の人数と高齢者人口に占める割合をお示ください。
- 2、2016年3月に、こいだら認知症ガイドブックが発行されました。小平市での認知症対策の課題も含めて、発行に至った経緯をお示ください。
- 3、小平市で行っている認知症高齢者を在宅介護している家族に対する支援にはどのようなものがありますか。
- 4、認知症の方を介護をしている家族にとって大きな困りごとになる徘徊に対して、どのような支援サービスがありますか。
- 5、高齢者の独居の場合、誰が認知症に気付き、どのように適切な支援へつなげているか対策をお示ください。
- 6、小平市の認知症コーディネーターの人数と役割をお示ください。
- 7、認知症疾患医療センターと連携して、認知症患者や家族を支援するためにどのようなことを行っていますか。また、今後期待するところをお示ください。

上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

平成29年8月29日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 さとう 悦子

受付番号【 】

26	25	24	23

-(/)